

柳谷小学校の沿革

柳谷地区は、明治時代には柳井川村・西谷村(1989年、2村合併で柳谷村となる)・中津村に分かれており、明治8年より各地に学校が作られる。大正期には柳谷第一・柳谷第二・久主の3つの尋常高等小学校及び鉢尋常小学校の4校があった。これらは、1941年(昭和16年)に「国民学校」と改称された。

国民学校は、1947年(昭和22年)より、それぞれ「小学校」と改称される。鉢小学校は1950年から久主小学校鉢分校となった。さらに、1955年に分校閉校となり、この校区の児童は柳谷第一小学校へ通学するようになった。また、この年に中津村が柳谷村と合併し、久主小学校は「柳谷村立中津小学校」となった。さらに、1958年、柳谷第二小学校が「西谷小学校」に、1959年に柳谷第一小学校が「柳井川小学校」となった。

1960年代には過疎化が進み、少子化とも相まって3小学校とも児童数が減少した。2001年(平成13年)3月に中津小学校が閉校(柳井川小学校と合併)、さらに2005年(平成17年)3月には柳井川小学校・西谷小学校が閉校し、4月より「柳谷小学校」となった。

【柳谷小学校のあゆみ】

平成16年度	6月	永野地区に「柳谷幼稚園、小・中学校」校舎の新築工事が始まる。
	3月	柳谷小学校の落成記念式典が挙行される。
平成17年度	4月	初代校長 芳野安隆 着任(～18年3月) 開校記念式を挙行する。
	5月	校訓等検討委員会で、校訓「よく鍛え よく学び よく遊べ」が決定される。
平成18年度	4月	2代校長 清水謙三 着任(～20年3月)
	12月	久万高原町より、木製机・椅子が配布される。
平成19年度	10月	上浮穴郡複式研究会・初任者研修事務所別研修会・管内複式学級担任者研修会会場校となる。
平成20年度	4月	3代校長 山田智香子 着任(～23年3月)
	5月	交通安全県民大会にて学校表彰を受ける。
	9月	久万天体観測館が発見した小惑星に、児童応募の「四国カルスト」が採用され、認定される。
	10月	中国・四国地区へき地教育研究大会・愛媛県へき地教育研究大会・上浮穴郡教科等研究会会場校となる。
平成21年度	5月	プール修繕工事を行う。
	6月	緊急放送設備完備工事が完了する。
平成23年度	4月	4代校長 高崎和夫 着任(～24年3月)
	11月	上浮穴郡教科等研究会(国語科)会場校となる。
平成24年度	4月	5代校長 住野秀志 着任(～27年3月)
	11月	上浮穴郡学校体育研修会会場校となる。
平成26年度	3月	併設の柳谷中学校が閉校となる。
平成27年度	4月	6代校長 門屋泰輝 着任(～30年3月)
	8月	職員室エアコン設置工事が完了する。
平成28年度	7月	上浮穴郡複式研究会(5・6年算数)会場校となる。
	3月	開校12年のあゆみをまとめた「柳谷小学校 干支ひとめぐり」を刊行する。
平成29年度	5月	Esnet接続により、新しいホームページを立ち上げる。
	3月	全国児童・生徒木工工作コンクールで特別賞を受賞する。
平成30年度	4月	7代校長 長谷哲雄 着任(～R3年3月)
平成31年度	10月	上浮穴郡教科等研究会(算数科)会場校となる。
(令和元年度)	1月	エアコン設置工事が完了する。
令和3年度	4月	8代校長 佐藤太 着任